

【第1回研修会 質問と回答】

- ① 仙波先生の講演でメイ希釈液は初めて聞いたので当院でも試してみたいと思いました。あと骨髓検査をされているご施設に質問ですが、骨髓塗抹後、冷風で乾燥する際どのくらいの時間でおこなっているか知りたいです。

→ご質問ありがとうございます。

施設A：基本 15 分です。時間的に余裕がある場合は 30 分程度行っております。

※とある勉強会で、一晚乾燥 v.s.5 分乾燥で、細胞質の顆粒の染色性がだいぶ変化する症例を経験したことを細胞像と共に教えていただきました。

乾燥も固定の一種なので、乾燥時間を長くする（より確実にする）ことにより、染色性の向上に寄与すると考えられます。

因みに、塗抹後 1 週間ぐらい放置すると、ガラス面の成分が細胞に移動して PH の変化が生じて標本全体に青みを帯びてきます。

- ② 大変ためになる講義ありがとうございました。講義1の標本作成で質問があります。染色の手順の中で、ギムザ染色をした後にリン酸バッファーで数秒洗ってから水洗しているようでしたが、水道水で水洗する前にリン酸バッファーを挟むのはなぜですか？何か染色性によい影響があるのでしょうか？

→ご質問ありがとうございます。

リン酸バッファーで数秒洗う

→純水（水道水ではない）でリン酸バッファーを洗い流す（3 秒程度）

をマニュアルとしております。

理由として、ギムザ染色は PH に依存して染色性が変化しますので、

水洗の第一段階にリン酸バッファーを使用しております。

水洗をリン酸バッファー単独で終わりにすると、乾燥時にリン酸結晶が残る場合があるため、純水で軽くリン酸バッファーを洗い流します。

水道水の場合は含有する塩素が季節によって異なることがあると伺っているため、このような手順を踏んでおります。